

平成 29 年度ふるさと歴史館及びたいけんの里事業について

- 1 平成 27・28 年度ふるさと歴史館・たいけんの里 92 事業の見直しを行った
 - (1) 平成 27 年度ふるさと歴史館事業
 - ・事業の中止は 2 件、休止は 6 件 合計 8 事業
 - (2) 平成 27 年度たいけんの里事業
 - ・事業の中止は 5 件、休止は 4 件 合計 9 事業
 - ※ボランティアへ移行事業は 7 件
 - (3) 平成 28 年度ふるさと歴史館事業
 - ・事業の終了 4 件、 合計 4 事業
 - (4) 平成 28 年度たいけんの里事業
 - ・事業の中止は 2 件、休止は 1 件 合計 3 事業
 - (5) 事業の中止合計は 9 件、休止合計は 11 件、終了 4 件 合計 24 事業
 - (6) 新規事業（ふるさと歴史館） 3 事業
 - ・東村山文化財講座「市内石造物めぐり」を、平成 29 年度から「石造物調査ボランティア」として活動を開始し、市内の石造物に対する^{しっかいてき}悉皆的な調査は行われておらず、過去に職員が行った調査を補い完成することを目的としている。
 現在、ボランティアは 12 名。隔月 1 回実施している。6 月 17 日には秋津神社で調査を行い、石造物の採寸や文字の判読を行った。
 次回 8 月には多摩湖氷川神社を調査する予定。
 - ・ギャラリートークやコラボ講座を東村山考古学講座として、今年度は「東山道武蔵路と弁天池北遺跡」、過去では「中の割遺跡」等
 - ・昭和 43 年度（44 年 3 月）に、地域に残る 6 つの祭囃子が東村山市祭囃子保存連合協議会として結成され、市指定無形民俗文化財「まつりばやし」が今年度で創立五十周年を迎えられた。このことに伴い、ロビー展示などを行っていく。
 - (7) 平成 29 年度ふるさと歴史館及びたいけんの里事業は、77 事業（付随事業含む）

- 2 平成 27 年度・平成 28 年度入館者数の動向
 - (1) ふるさと歴史館
 - 平成 26 年度は 1 万 9 千 6 2 6 人（月平均 1, 6 3 6 人）
 - 平成 27 年度は 1 万 7 千 1 4 8 人、前年度に対し 13% 減（月平均 1, 4 2 9 人）
 - 平成 28 年度は 1 万 5 千 7 6 4 人、前年度に対し 8% 減（月平均 1, 3 1 4 人）
 - (2) たいけんの里
 - 平成 26 年度は 1 万 4 千 2 8 1 人（月平均 1, 1 9 0 人）
 - 平成 27 年度は 1 万 2 千 1 5 8 人、前年度に対し 15% 減（月平均 1, 0 1 3 人）
 - 平成 28 年度は 1 万 1 千 8 6 3 人、前年度に対し 2% 減（月平均 9 8 9 人）
 - ※平成 26 年度については、市制施行 50 周年記念ということもあり、事業等を多く行ったことから入館者数が増えている。

- 3 ふるさと歴史館・たいけんの里アンケート
 - (1) ふるさと歴史館アンケート結果は別紙
 - 年齢を 60 歳未満と以上の回答で捉えた。
 - ・60 歳未満 33%（前回 29%）

- ・ 60歳以上 67% (前回 71%)

上記の内容から年齢層を考えた企画事業を展開すべきか、あるいは年齢層を若年に合せた企画事業を考えるべきか。

○来館回数

- ・ はじめてから7回目までは75% (前回 54%)
- ・ それ以上では25% (前回 46%)

(2) たいけんの里アンケート結果は別紙

○年齢を60歳未満と以上の回答で捉えた。

- ・ 60歳未満 69% (前回 67%)
- ・ 60歳以上 31% (前回 33%)

上記の内容から年齢層に合った企画事業を展開していくことで良いと考えるべきか。

○来館回数

- ・ はじめてから7回目までは73% (前回 60%)
- ・ それ以上では27% (前回 40%)

4 企画展・特別展

(1) 平成27年度

- ・ 4月25日～6月28日 下宅部遺跡東京都史跡指定記念「東村山の遺跡展」
3, 445人
- ・ 7月11日～8月30日 終戦70年企画展「東村山地域をめぐる銃後と前線」
2, 539人
- ・ 9月26日～12月20日 川越鉄道全通120周年記念企画展「鉄道たちの交差点
—東村山近代化の夜明け—」
4, 252人
- ・ 1月14日～3月13日 企画展「なつかしい暮らしと道具たち」
3, 880人

(2) 平成28年度

- ・ 4月16日～5月15日 年中行事展 「こいのぼり」
1, 426人
- ・ 6月11日～8月21日 下宅部遺跡展「縄文人の植物利用」
3, 235人
※縄文人が自然と共生し、植物を多様に利用していたことが明らかになり、縄文人が利用していた植物。クリやツルマメとヤブツルアズキなど
- ・ 10月5日～12月11日 秋の特別展「祝い着—子どもの成長と嫁入り」
2, 779人
- ・ 1月12日～3月12日 小学校社会科見学対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」
4, 003人

(3) 平成29年度

- ・ 東村山市祭囃子保存連合協議会創立五十周年記念展
無形民俗文化財「まつりばやし」
4月22日～7月2日
- ・ 企画展「夏休み自由研究のたね」
7月22日～8月27日
- ・ 文化財展「東村山の神社」
9月30日～12月3日
- ・ 小学校社会科見学対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」
1月11日～3月11日